

よもぎた 議会だより

議会を傍聴しませんか
次の定例会は
9月8～11日開催予定です

第226号(令和8年8月5日発行)



力をあわせて火起こし体験

小学校高学年の有志21人が、リーダー研修会で火起こしを体験しました。勢いよく火が起きると大きな歓声が響き、ハイタッチを交わしました。

起こした火は県内各市町村の火とともに集火され、国スポ・障スポのシンボルとなりました。

目次

- 事業確定による補正予算をすべて可決 第2回定例会・・・P 2
- あなたの声を市政に 一般質問 5議員・・・P 5
- 常任委員会視察研修レポート 沖縄県宮古島市・・・P13
- 議員の主な活動・・・・・・・・・・・・・・P14

U R L <https://www.vill.yomogita.lg.jp/sonsei/gikai/>
E-mail yomo-gikai01@vill.yomogita.lg.jp

●発行/青森県蓬田村議会 ●編集/議会広報編集委員会 〒030-1212 青森県東津軽郡蓬田村大字阿弥陀川字汐干126番地1/TEL 0174-31-0833



令和8年 第2回 定例会

事業確定による 補正予算をすべて可決

第2回定例会が、6月10日から12日の3日間開催されました。条例の改正、補正予算などの議案13件を審議し、すべて原案どおり可決されました。



主な専決処分

会計名(令和7年度)	補正金額	予算総額
一般会計	△3億8,361万円	44億2,736万円
特別会計		
学校給食センター	△218万円	3,646万円
国民健康保険	△2,812万円	4億5,438万円
介護保険	△1,806万円	5億1,903万円
後期高齢者医療保険	△221万円	1億283万円
事業会計		
簡易水道	△423万円	9,898万円

(千円単位四捨五入)

■各会計において、年度事業確定等に伴う予算補正を行った。

■蓬田村税条例の一部を改正する条例の専決処分について

地方税法等の一部改正に伴い、蓬田村税条例の一部改正した。個人住民税、軽自動車関連税などが見直された。

主な補正予算

会計名(令和8年度)	補正金額	予算総額
一般会計	1,196万円	31億2,541万円
特別会計		
学校給食センター	29万円	4,471万円
国民健康保険	△238万円	4億4,924万円
介護保険	△201万円	5億6,966万円
後期高齢者医療保険	△27万円	1億127万円
事業会計		
簡易水道	△35万円	1億653万円

(千円単位四捨五入)

■蓬田村乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定の専決処分について

■蓬田村特定乳児等通園支援事業の運営に関する基準を定める条例の制定の専決処分について

乳幼児等通園支援事業(こども誰でも通園制度)を実施するための設備、基準等を定めるため制定した。

■一般会計

・蓬田村いきいき交流館屋根塗装工事費 196万円

・村指定ごみ袋製作委託料 72万円

・ライスセンター北棟灯油タンク等交換工事費 79万円

・農業用ハウス等雪害復旧緊急支援事業費補助金 433万円

・蓬田村観光推進協議会委員報酬 13万円

・(小中学校)各種検定助成金 39万円

・蓬田小学校通話録音装置購入費 30万円

・蓬田中学校通話録音装置購入費 19万円

■学校給食センター特別会計

・厨房フード等清掃業務委託料 34万円

■国民健康保険特別会計

・印刷製本費 10万円

主な質疑

農業用ハウス等雪害復旧緊急支援事業

Q

(川崎議員) 農業用ハウス等の雪害に対する県2分の1の補助事業について、村内の被害件数、被害額はどれくらいあるか。また、要望はどれくらいあったのか。

A

(産業振興課長) 要望調査の結果、要望があったのは4名、被害件数のうち再建になるものが3件、修繕が1件である。

各種検定助成金

Q

(柿崎議員) 小学生中学生への各種検定助成金は、一つ一つの検定の申込み料の全額助成なのか一部助成なのか。

A (教育課長) 数
検、英検、漢検、
どれを受験しても1人10
00円負担していただき、
残額を助成とすることし
ている。

例えば、1人の生徒が英
検1回、数検1回、漢検1
回受験してもそれぞれ10
00円の負担である。

中学校1年生程度の数検
5級は2800円、中学校
3年生程度の3級は330
0円となっている。

村指定ごみ袋製作委託料

Q (吉田議員) 指定
ごみ袋の製作につ
いて、去年と比べ約100
万円予算が多いが、何枚製
作しているのか。

A (健康福祉課長)
本年度は、大のサ
イズ、1箱400枚入りを
260箱製作する予定で、
10万4000枚になる。

学校通話録音装置購入費

Q (乳井議員) 通話
記録装置購入費に
ついて、小・中学校で金額
が違うのはなぜか。

A (教育課長) 小学
校と中学校の電話
機の台数の違いによるもの
である。

人事案件

■蓬田村監査委員の選任につ
き同意を求めることにつ
いて

・任期満了に伴い、選任に
ついて同意を得た。任期は
令和8年6月13日〜令和12
年6月12日。



坂本 亮 氏
(中沢)

■蓬田村固定資産評価審査
委員会委員の選任につき同
意を求めることについて

・任期満了に伴い、高松直
樹氏の選任について同意を
得た。任期は令和8年7月
1日〜令和11年6月30日。

■蓬田村農業委員会委員の
選任につき同意を求めるこ
とについて

・任期満了に伴い、吉田隆
繁氏、坂本忠孝氏、小鹿正
博氏、久慈さやか氏、工藤
幸治氏、細谷忠彦氏、高田
祥栄氏、木戸良治氏、七戸
祥一氏、稲葉英一氏の選任
について同意を得た。任期
は令和8年7月20日〜令和
11年7月19日。



7月15日農業委員会委員に委嘱状が交付された(2名は欠席)

令和8年 第2回臨時会

7月21日に開催され、
補正予算1件を含む議案
2件が可決されました。

補正予算

■一般会計

・eLTA X5期更改対
応eLTA X端末設定作
業業務委託料 76万円

動産買入れ 契約の締結

■動産の買入れの契約の
締結について

・避難所生活環境改善の
資機材として、気化式冷
風機16台、折りたたみ式
簡易ベッド100台、多
用途防災テント50張りを
購入するもの。

一目でわかる審議内容と結果

○：賛成 ×：反対

	件 名（主な内容）	議決 結果	賛成：反対	議 員 名							
				小 鹿 重 一	柿 崎 裕 二	坂 本 豊	久 慈 省 悟	川 崎 憲 二	森 弘 美	吉 田 勉	乳 井 厳 公
第2回定例会	報告第4号 蓬田村税条例の一部を改正する条例の専決処分について	承認	7：0	—	○	○	○	○	○	○	○
	報告第5号 蓬田村乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定の専決処分について	承認	7：0	—	○	○	○	○	○	○	○
	報告第6号 蓬田村特定乳児等通園支援事業の運営に関する基準を定める条例の制定の専決処分について	承認	7：0	—	○	○	○	○	○	○	○
	報告第7号 令和7年度蓬田村一般会計補正予算（第13号）の専決処分について	承認	7：0	—	○	○	○	○	○	○	○
	報告第8号 令和7年度蓬田村学校給食センター特別会計補正予算（第5号）の専決処分について	承認	7：0	—	○	○	○	○	○	○	○
	報告第9号 令和7年度蓬田村国民健康保険特別会計補正予算（第4号）の専決処分について	承認	7：0	—	○	○	○	○	○	○	○
	報告第10号 令和7年度蓬田村介護保険特別会計補正予算（第6号）の専決処分について	承認	7：0	—	○	○	○	○	○	○	○
	報告第11号 令和7年度蓬田村後期高齢者医療特別会計補正予算（第5号）の専決処分について	承認	7：0	—	○	○	○	○	○	○	○
	報告第12号 令和7年度蓬田村簡易水道事業会計補正予算（第4号）の専決処分について	承認	7：0	—	○	○	○	○	○	○	○
	報告第13号 繰越明許費繰越計算書の報告について	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	報告第14号 継続費精算報告書について	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	議案第15号 蓬田村職員の分限に関する手続及び効果に関する条例の一部を改正する条例案	可決	7：0	—	○	○	○	○	○	○	○
	議案第16号 特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例案	可決	7：0	—	○	○	○	○	○	○	○
	議案第17号 蓬田村国民健康保険税条例の一部を改正する条例案	可決	7：0	—	○	○	○	○	○	○	○
	議案第18号 動産の買入れの契約の締結について	可決	7：0	—	○	○	○	○	○	○	○
	議案第19号 令和8年度蓬田村一般会計補正予算（第1号）案	可決	7：0	—	○	○	○	○	○	○	○
	議案第20号 令和8年度蓬田村学校給食センター特別会計補正予算（第1号）案	可決	7：0	—	○	○	○	○	○	○	○
	議案第21号 令和8年度蓬田村国民健康保険特別会計補正予算（第1号）案	可決	7：0	—	○	○	○	○	○	○	○
	議案第22号 令和8年度蓬田村介護保険特別会計補正予算（第1号）案	可決	7：0	—	○	○	○	○	○	○	○
	議案第23号 令和8年度蓬田村後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）案	可決	7：0	—	○	○	○	○	○	○	○
	議案第24号 令和8年度蓬田村簡易水道事業会計補正予算（第1号）案	可決	7：0	—	○	○	○	○	○	○	○
	議案第25号 蓬田村監査委員の選任につき同意を求めることについて	同意	7：0	—	○	○	○	○	○	○	○
	議案第26号 蓬田村固定資産評価審査委員会委員の選任につき同意を求めることについて	同意	7：0	—	○	○	○	○	○	○	○
	議案第27号 蓬田村農業委員会委員の選任につき同意を求めることについて	同意	7：0	—	○	○	○	○	○	○	○
第2回臨時会	議案第28号 動産の買入れの契約の締結について	可決	7：0	—	○	○	○	○	○	○	○
	議案第29号 令和8年度蓬田村一般会計補正予算（第2号）案	可決	7：0	—	○	○	○	○	○	○	○



議長は、賛成と反対が同数のとき以外は採決に加わらないため「—」と表示しています。



あなたの声を村政に

令和8年第2回定例会

一般質問

一般質問は、議員の日常活動と調査・研究・住民の声や自身の考え方をもとに、村長などに方針を問うものです。議員1人当たりの質問回数は1つの質問につき3回までです。

ページ	質 問 事 項	質問議員
6～7	1. 指定ごみ袋の供給は大丈夫か 2. 熊対策マニュアルあるか 3. 学校に防犯カメラ設置できないか	柿崎裕二
8	1. 通学費助成できないか 2. 蓬田紳装の経営状況は	川崎憲二
9	1. 村内事業者の出店促進できないか 2. 瀬辺地天満宮のり面、転落防止柵つけられないか	久慈省悟
10～11	1. 災害情報メール等で発信できないか 2. 健康診査受診状況は	乳井巖公
12	1. 公民館に防犯カメラ設置できないか	坂本 豊



かき ざき ゆう じ
柿 崎 裕 二 議員

全文はこちら



指定ごみ袋の供給は大丈夫か

(村)在庫は確保している

Q 原料不足により価格上昇や在庫不足が発生すると、必要な人が購入できなくなる。

村指定ごみ袋の供給状況、在庫状況はどうなっているのか。

A (健康福祉課長) 供給状況については、5月以降中東情勢悪化によるナフサ不足により自治体指定のごみ袋が品薄になっている報道等を受け、村も指定ごみ袋の販売数が例年の2倍以上となった。

特に燃えるごみ大の販売数が急上昇しており、在庫が急激に減少し、回覧等で必要以上の買占めは行わないよう住民に対してお願いしたところである。

5月末の在庫数は、例年の販売数を確保しており、製造事業者からも例年とお

りの数量が供給される見込みである。

過剰な仕入れはないか

Q ごみ袋の販売店に在庫を多く確保する動きなどは見られないのか。

また、販売店に買い置きをしないように通達をしているか。

A (健康福祉課長) 販売店に対しては、必要以上に購入している方があれば1袋ずつとかなにするようお願いはしている。いつもより仕入れが多かったところに対しては、今後の在庫状況によつては仕入れの状況などに制限をかけるということをお願いはしていた。

購入制限の予定はあるか

Q 住民の方々のごみ袋の購入を制限する予定はあるか。

A (健康福祉課長) 今後の販売状況などを見て考えていきたい。

現在は在庫があるので、例年のような販売状況であれば、今のところ考えていない。

値上げする予定はあるか

Q 今後物価、原料が高騰していった場合は値上げするのか。

A (健康福祉課長) 指定ごみ袋の値上げについては、現在のところは考えていない。

熊対策マニュアルあるか

(村)3月に策定済み

Q 熊の出没が急増し、人的被害が相次いでいるが、村はどのような対策を行うのか。

マニュアル等は作成しているのか。

A (産業振興課長) 村では令和8年3月に蓬田村緊急銃猟対応マニュアルを策定し、ホームページでも公表している。

また、職員用の対応マニュアルも作成し、情報を共有している。

村としてはまず、熊を寄せつけない環境づくりが重要だと考える。野菜残渣等の適正な管理と周辺の草刈り等について回覧等で今後も周知を徹底していく。

出没した場合は、県、猟友会及び外ヶ浜警察署と連携し、避難誘導や交通規制等に速やかに対応でき

るよう体制の強化に努めていく。

消防団と連携強化できないか

Q 村民から出没場所などの詳しい情報を求める声が多く出ている。消防団との連携を活発にして、注意喚起を促せないか。

A (産業振興課長) 熊の出没情報は住民の安全確保や適切な警戒行動につながることから、関係機関から提供される情報の内容や正確性を確認した上で、可能な範囲で出没場所や日時などの情報提供に努めていきたい。

A (総務課長) 村消防団との連携につ

いては、蓬田村消防団幹部会において、本団及び各分団長へ情報共有、必要に応じてパトロール、周辺住民への呼びかけ等協力していただくよう要請をした。

住宅地付近で出沒した場合、総務課で周辺地区のパトロールや住民への注意喚起を行うこととしている。

今後も、関係機関及び消防団と連携を図りながら、住民の皆様が適切な防災行動を取ることができるよう、迅速かつ効果的な情報発信に努めていきたい。

緊急銃猟が必要な場合

Q 村にライフルや麻酔銃を撃てる方はいるのか。

A (産業振興課長) 猟友会にライフルによる駆除をできる方はいない。麻酔銃を扱える方はいないので、県に依頼することになると思う。



6月25日 ツキノワグマの緊急銃猟を想定した訓練が今別町で3町村合同で行われた

学校に防犯カメラ設置できないか

(村)必要に応じて検討する

Q 先般京都で発生した殺人事件では、防犯カメラの映像が判断材料となった。村の小学校、中学校の敷地内でも犯罪が起きかねない。

学校の敷地内に防犯カメラの設置を要望したいがどうか。

いる。

小学校の送迎は、ほぼスクールバスと保護者による送迎になっており、先生方も朝玄関前に立って迎えているところである。

現時点では防犯カメラの設置を予定していないが、子供たちの安全確保は最重要課題であることから、今

後も学校周辺の状況や自治体の事例等を注視しながら、必要に応じて安全対策の充実を検討していく。

A (教育課長) 学校においては教職員による見守りや地域の皆様のご協力の下、安全対策を進め、小中学校とも登校後には玄関等の施錠を徹底している。

中学校は、外部からの来客等の際はモニター付のインターホンがついており、小学校は、今年度モニター付のインターホンに更新する工事を行う予定となっている。



かわ さき けん じ
川 崎 憲 二 議員

全文はこちら



通学費助成できないか

(村)総合的に進めている

Q

物価高騰により、高校生のある世帯は通学費の電車、バス代がかなり負担になっている。

近隣の自治体でも一部を助成している例もあることから、村でも助成できないか。

A

(教育課長) 高校生の通学費は保護者にとって大きな負担に

なっていることは認識しており、近隣自治体の状況も注視している。

しかし、限られた財源で子育て支援や教育環境の整備などを総合的に進めていることから、直ちに制度化する考えに至っていない。

入学準備金、卒業記念のスーツの仕立て等の助成事業は今後も引き続き継続していきたい。



蓬田村塾には高校受験を控えた中学3年生を中心に21名が参加した

蓬田紳装の経営状況は

(村)令和7年度は赤字だった

Q

コロナ禍以降、スーッ業界は状況が厳しく、蓬田紳装も同様だと思われるが、現在の経営状況はどうなっているのか。

A

(村長) 令和7年度決算は、当期純利益金が4840万1000円の赤字となっており、厳しい状況ではある。

ただし、10月以降は繁忙期もあり、生産はフルで稼働している。

資金繰りと受注状況は

Q

村から支援を受けているが、資金繰りはどうなったか。

A

(村長) 昨年度村の経営雇用安定化支援金2000万円のほか、御幸毛織株式会社から

も支援を受けている。

しかし、厳しい現状が続いており、村から短期貸付金として2000万円借入れし、年度末には返済している。

Q

受注状況はどのようなになっているのか。

A

(村長) 10月以降月2000着を超えている受注をいただいている。

ただ、退職者が続き、全体の生産量は減少傾向にあるため、繁忙期は生産体制を強化している。

従業員は足りているのか

Q

現在の従業員数は何人いるのか。今の従業員数で足りているのか。

A

(村長) 5月1日現在で従業員は133名いるが、早期の経営回復には従業員が150名は必要である。

ハローワークで募集しているが、応募がない状態であり、引き続き回覧や新聞広告等で募集していく。

今後の展望は

Q

今後どのように経営していくのか。

A

(村長) 県内自治体などへの営業活動を進め、新成人スーツ贈呈事業に他自治体から問い合わせをいただくなど、受注拡大につながっている。主力の御幸毛織からの受注も増加している。

職員の声を反映させた業務改善を進め、組織体制、体系を再構築している。生産能力の向上や、目標達成と黒字化を意識し、全社員一丸となって取り組んでいく。



久慈省悟 議員

全文はこちら



村内事業者の出店促進 できないか

(村)十分協議したい

Q

令和7年度開催された新規イベント

事業の中で、冬フェスというイベントが開催され盛況だったが、出店した飲食店の中に村内の事業者はいなかったと聞いている。村民のために様々な事業を行っているので、村民の生活向上や所得向上を目指すようなイベントにしてほしいと思う。

今後は村内の飲食店の方々も参加の機会を広げ、村民の所得向上や地域活性化につなげてほしいがどうか。

A

(産業振興課長)
昨年度、新庁舎に

おいて秋フェス、冬フェスを開催したところ、村内外から多数の皆様にご来場いただきイベントを盛り上げていただいたことに対し、心から感謝申し上げます。

冬フェスでは数名の村内事業者に出店を依頼したが、イベントの開催が金曜日の午後5時からというところで人員の確保が困難であり、出店ができなかったと確認している。

今後イベントの出店については、関係機関と十分協議して、村民の所得向上と地域活性化に努めてまいりたいと考えている。

瀬辺地天満宮のり面 転落防止柵つけられないか

(村)総合的に判断したい

Q

瀬辺地天満宮のり面保護の工事は県

事業として今年度からの施工に入ることだが、天満宮の社殿からのり面までの距離が近いことから、安全対策として転落防止柵等の設置が必要と思い、課長に伺ったところ、確認をするということだったがどうなったのか。

A

(建設課長) 当該

工事は、県による災害防除事業として今年度より工事に着手するところである。

転落防止柵等の設置については、現地の状況を瀬辺地自治会とも確認しながら、今後村と県で総合的に判断していきたい。



瀬辺地天満宮東側の工事予定地



にゅう い つよ ただ
乳 井 竜 一 議員

全文はこちら



災害情報メール等で発信できないか

(村)公式LINEで配信する予定

Q 村では、熊出没情報などの災害情報等の発信は村内放送を利用して周知している。田んぼや畑、また沖で作業している場合、この村内放送では情報が得られないことが多くある。スピーカーの近くでもトラクター等の作業機に乗っている場合には全く聞こえない状況である。災害情報等の発信についてメールやLINE等を利用して発信できないか。

A (総務課長) まず、防災行政無線による放送は屋外での農作業や漁業作業中、また機械作業中などにおいて聞きづらい場合があり、情報伝達手段の多様化は重要な課題であると考えている。



導入予定の公式LINE

し、防災情報や鳥獣出没情報をはじめ村からのお知らせなどを登録者へ迅速に配信することが可能となる防災行政無線を補完する新たな情報伝達手段として活用できるものとし、今年中の運用開始を目指し作業を進めているところである。

また、災害時における情報収集や住民との連絡手段としての活用も期待しており、村民の皆様に必要な情報をより確実かつ迅速に届けることができるよう、配信内容や運用方法について検討を進めているところである。

Q 村で実施している健康診査の昨年の40歳以上と40歳以下の対象者数、受診者数、受診率はどのくらいか。

(村)特定健診は41%

健康診査受診状況は

A (健康福祉課長) 蓬田村で実施している健康診査は、40歳から74歳の国民健康保険加入者を対象とした特定健康診査、後期高齢者医療制度加入者を対象とした健康診査、加入している健康保険の種類に関係なく20歳から39歳を対象とした基本健康診査があり、特定健康診査と後期高齢者健康診査については個別健診も実施している。

令和7年度の特定健康診査は対象者485人、受診者198人、受診率40.8%、後期高齢者健康診査は対象者625人、受診者

159人、受診率25.4%、基本健康診査は対象者257人、受診者18人、受診率7%となっているが、この年代は職場で健康診査を受診される方が多いことから、村で実施している健康診査の受診率は低くなる。

個人負担額はいくらか

Q 令和5年度の県内国保加入者の健康診査受診率の平均は20.3%と公表されている。これを受ければ、村の40歳以上の方の受診率40.8%は高いものの、若い方の受診率が低い。

40歳以下の方も個人負担すれば40歳以上と同様の健康診査を受けられると聞いているが、この個人負担とというのは幾らになるのか。

A (健康福祉課長)
村で実施している健康診査は、20歳以上の方が年齢に関係なく同じ内容で無料で受診でき、住民健診においては、健康診査と各種がん検診を実施している。

肺がん検診は20歳以上の方が無料で受けられる。

胃がん検診は、村では40歳以上を対象に実施し、20歳から39歳の方が受ける場合は8800円の自己負担をいただいている。

大腸がん検診も40歳以上の方々を対象としているので、20歳から39歳の方が受ける場合は1870円の自己負担をいただいている。

子宮頸がん検診は20歳以上が対象で、無料となっている。

乳がん検診は40歳以上を対象とし、40歳以上は無料だが、20歳から39歳の方への検診は行っていない。

個人負担を補助できないか

Q 個人負担部分を村で補助して若い方にも積極的に受けてもらう考えはないか。

A (健康福祉課長)
がん検診は、国が死亡率や不利益に関する科学的な証拠、罹患率などを総合的に判断し、科学的根拠に基づいて対象年齢を決めて推進をしている。県も国の方針に従い、市町村で行うがん検診は国の方針で実施し、それ以外のがん検診は実施しないよう要綱にも定めている。

村としては、国が推進する対象年齢以外のがん検診を無料にすることは、国、県の指導と違うことになるので考えていないが、自分の意思で各種がん検診を住民健診で実施したい場合、有料だが受診できる体制は整えている。

蓬田村住民健診の概要

住民健診を受けられなかった方は、フォローアップ健診、個別検（健）診を受けることができるものがあります。問い合わせ：健康福祉課（27-2113）

○：受診可 無料 ○※：受診可（個人負担額） ◇：被扶養者のみ受診可

		国民健康保険		後期高齢者 医療保険	社会保険・共済・任継		令和7年度受診率	
		20～39歳	40～74歳	主に75歳～	20～39歳	40～74歳		
健康診査	基本健康診査	○			○		国保加入者のみ	18.8%
	特定健康診査		○			◇	国保加入者のみ	40.8%
	後期高齢者健康診査			○			後期高齢加入者のみ	25.4%
各種 検診	肺がん・結核	○	○	○	○	○	国保・社保加入者の40～69歳	15.1%
	胃がん	○※ (8,800円)	○	○	○※ (8,800円)	○	国保・社保加入者の50～69歳	15.6%
	大腸がん	○※ (1,870円)	○	○	○※ (1,870円)	○	国保・社保加入者の40～69歳	15.8%
	子宮頸がん (2年に1回)	○	○	○	○	○	国保・社保加入者の20～69歳	18.7%
	乳がん (2年に1回)		○	○		○	国保・社保加入者の40～69歳	24.1%
	肝炎ウイルス (5歳刻みの年齢で当該検診を 一度も受けていない方)		○	○		○		
	歯科健診	○	○	○	○	○		
	骨粗しょう症		○	○		○		



さかもと
坂本

ゆたか
豊 議員

全文はこちら



公民館に防犯カメラ設置できないか

(村)村による設置は考えていない

Q 村で公民館に防犯カメラの設置、管理できないか。

A (総務課長) 防犯カメラの設置については、犯罪の抑止や地域住民の安全・安心の確保に一定の効果が期待できる。

一方で、公民館は自治会が所有し管理している施設であることから、防犯カメラの設置や運用については基本的には施設管理者である自治会で判断していただくべきものと考えている。

また、設置目的や撮影範囲、映像データの管理方法、個人情報保護への対応など適切な運用体制を整備する必要があるため、現時点で村が直接設置し管理することは考えていない。

地域の防犯対策の充実は重要な課題であるとし、自

治会から具体的な相談があった場合には、その必要性や管理体制を確認しながら、支援の在り方について検討したい。

自治会の軽減負担を

Q 自治会の公民館は基本的には自治会員が設置するものと考えますが、費用や管理、維持費の負担は大きい。

中沢自治会では小学生の事故や空き家への侵入事案もあり、防犯カメラが設置されていれば情報が得られた可能性もある。

防犯対策としても役場が率先して設置する方向がよいのではないかと。

A (村長) 自治会所有施設へ村が防犯カメラを設置することについては、公平性の確保や維持管理責任、故障等の対応方法、映像データの管理の責任など整理する課題があるため、自治会が管理主体となることが適当であると考えている。

費用対効果、設置場所を見極めながら今後検討していく必要がある。



役場庁舎に取り付けられている防犯カメラ

常任委員会 視察研修 レポート

エコアイランド宮古島に学ぶ

千年先の未来への取り組み



宮古島市
千年先の未来へ。
ECO-ISLAND
MIYAKOJIMA

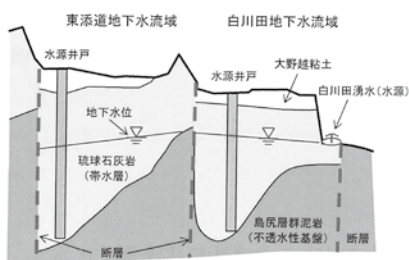
宮古島市ホームページ



宮古島市役所にて説明を受ける



地下ダム資料館を見学する



地下ダムの模式

今回の行政視察では、「エコアイランド」を掲げる沖縄県宮古島市を訪れました。

エコアイランドの理念

エコアイランドとは、「この先千年住み続けることのできる島」を目指す取り組みです。限られた資源をできるだけ島内で循環させることにより、持続可能な地域づくりを進めているということでした。

地下ダムが支える水資源

その代表的な取り組みが「水」です。宮古島では、台風時期には多くの雨が降る一方、過去に数か月間ほとんど雨が降らず、農作物が干ばつ被害を受けることもありました。島は隆起したサンゴ礁でできているため、降った雨の約4割が地下へ浸透し、約5割は蒸発するそうです。

この特性を生かして地下ダムを整備し、地上には「ファームポンド」と呼ばれる大規模な貯水施設を設置しています。地下ダム2カ所の貯水量は約2千万トン、ファームポンドは約4万3800トンもの膨大な量になります。

再生可能エネルギーの活用

次に「電力」です。太陽光発電や風力発電などの再生可能エネルギーを導入し、島で使われる電力を大きく補っています。

一般住宅は台風に強い平屋で平屋根が多く、太陽光パネルを設置しやすい構造になっています。

また、EV車の購入にも補助を行い、300万円の車であれば、補助により200万円程度で購入でき、このEV車は災害時の停電対策にも活用されています。

さらに、基幹産業であるサトウキビは、葉や搾りかすを家畜の飼料として利用するなど、資源を無駄にしない取り組みも進められていました。

視察を終えて

現在、ホルムズ海峡情勢の影響による原油価格の高騰や、ナフサをはじめとする石油関連製品の供給不安が懸念されている。

エネルギーや資源の多くを海外に依存する島国日本だからこそ、人口約5万5千人の宮古島市が進める「島産島消」の取り組みにあらためて刮目する必要があるのではないか。

(産業建設常任委員会)

委員長 吉田 勉

議員の主な活動

5月16日	中学校運動会
5月19日	田植え督励
5月20日	町村議会広報研修会
5月22日	東津軽郡町村議会議長会定時総会
5月26～27日	全国町村議会議長・副議長研修会
5月29日	議会運営委員会
5月30日	小学校運動会 例月集会
6月2日	例月出納検査
6月3日	青森県町村議会議長会臨時総会
6月10～12日	第2回定例会
6月16日	七戸町議会視察受け入れ
6月19日	例月集会
6月21日	蓬田村消防団観閲式
6月29日 ～7月2日	総務文教・産業建設常任委員会活動
7月3日	東津軽郡町村議会議長会 議員健康管理セミナー
7月6日	例月出納検査
7月8日	県下町村議会議員研修会
7月18日	玉松海水浴場安全祈願祭
7月21日	第2回臨時会 例月集会 広報編集委員会
7月24日	町村議会議員ハラスメント防止研修
7月30日	蓬田地域病害虫防除実施協議会全体協議会
8月2日	玉松海まつり2026
8月3日	例月出納検査



5月19日 田植え督励



6月16日 七戸町議会視察受け入れ



7月3日 東津軽郡町村議会議長会議員健康管理セミナー

編集後記

2月、アメリカとイスラエルによる先制攻撃をきっかけにイラン侵攻が始まった。その大義は、大量破壊兵器である核兵器の製造能力を永久に奪うというものであった。

しかし、ロシアによるウクライナ侵攻と同様に、国際法違反との指摘もある。アメリカもロシアと同様に短期決戦での終結を考えたのだろうか、イランはホルムズ海峡封鎖というジョーカーを切った。これにより、停戦合意は実現せず、世界は石油危機に直面し、原油価格高騰、石油由来製品の品不足に苦しんでいる。大国の大統領の独断と偏見はかくも許されるものなのか。

政治家とは、何に大義を見だし、何を守るべき存在なのか。一刻も早い停戦が実現することを願うばかりである。

(勉)

青森県蓬田村議会 広報編集委員会

委員長：坂本 豊
副委員長：川崎憲二
委員：吉田 勉
委員：乳井厳公

電話 0174-31-0833

皆さんの声をお聞かせください

村民の皆さんに伝わる
広報を目指し、ご意見をお待ちしています。

